

2023年12月15日

当院を受診された患者さんへ

「 当科における人工肛門閉鎖術の工夫～Gunsight closure 法 」への協力をお願い

外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年1月1日～2023年11月30日の間に、当院において、人工肛門閉鎖術を受けられた方

研究期間：岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日～2024年6月30日

研究目的・利用方法：

直腸癌等に対する肛門温存手術や腹膜炎などの緊急手術の際に一時的人工肛門を造設し、その後の人工肛門閉鎖時には術後創感染対策のため環状皮膚縫合を行うことが一般的ですが、その方法による皮膚の収縮による創部痛や創傷治癒遅延、整容性の低下が問題となることがあり、これらの問題点を改善するための方法として当科では Gunsight closure（人工肛門を閉鎖し、筋膜縫合後の円形の皮膚切開部を上下左右にそれぞれ楔形に1cm程度延長し、頂点を曲線を描きつつ繋ぐように皮膚を切除し、十字に縫合閉鎖する方法）を基本としており、その有効性と安全性を検証することを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

手術前の検査・評価項目

性別、年齢

一般身体所見：身長、体重、BMI

原疾患：人工肛門造設に至ったもともとの疾患と人工肛門造設時の術式

手術での評価項目

手術時間、出血量

手術後の評価項目

術後合併症、創傷治癒までに要した日数、術後鎮痛薬使用回数、術後在院日数、創部の形状（創部の写真による客観的評価）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

連絡先

岐阜市民病院 外科
電話番号：058-251-1101
氏名：八幡 和憲

研究責任者

岐阜市民病院 外科
氏名：八幡 和憲

【相談窓口】

岐阜市民病院 外科
〒500-8513
岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地
Tel：058-251-1101